



Matrox D シリーズ

D1450 - Quad HDMI

D1480 – Quad DisplayPort

取扱説明書

V1.2

安全のために必ずお読みください

本書をお読みいただき正しい方法でご使用ください。誤った使用方法による危険を表すものとして下記の表示を使用しています。

 警告	誤った取り扱いをした場合に死亡や重傷などの重大な結果を伴う可能性があることを表します。
 注意	誤った取り扱いをした場合に軽傷を負うか、物的な損害が生じる可能性があることを表します。

記号の説明

	注意を促すことを表します。
	してはいけないこと（禁止）を表します。



万一異常が発生した場合は直ちに使用を止め、機器を安全な場所へ移動してください。異常があるまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

	異常な発熱がある場合や、煙を発した場合、また不自然な臭いを感じた場合は、直ちにPCをシャットダウンして使用を中止してください。
	壊れた機器や異常のある機器を本機に接続しないでください。本機の故障の原因になるだけではなく、火災や感電の原因となる場合があります。
	水に濡れた場合や、内部に異物が入った場合は使用を中止してください。
	濡れた手で本製品を取り扱わないでください。感電の原因になります。
	本機を分解する、独自の修理を行う、または改造するなどしないでください。火災、感電の原因となる場合があります。

 注意

注意事項をよくお読みください。誤った設置方法や取り扱いによって機器に故障が生じ、火災、感電の原因となる場合があります。

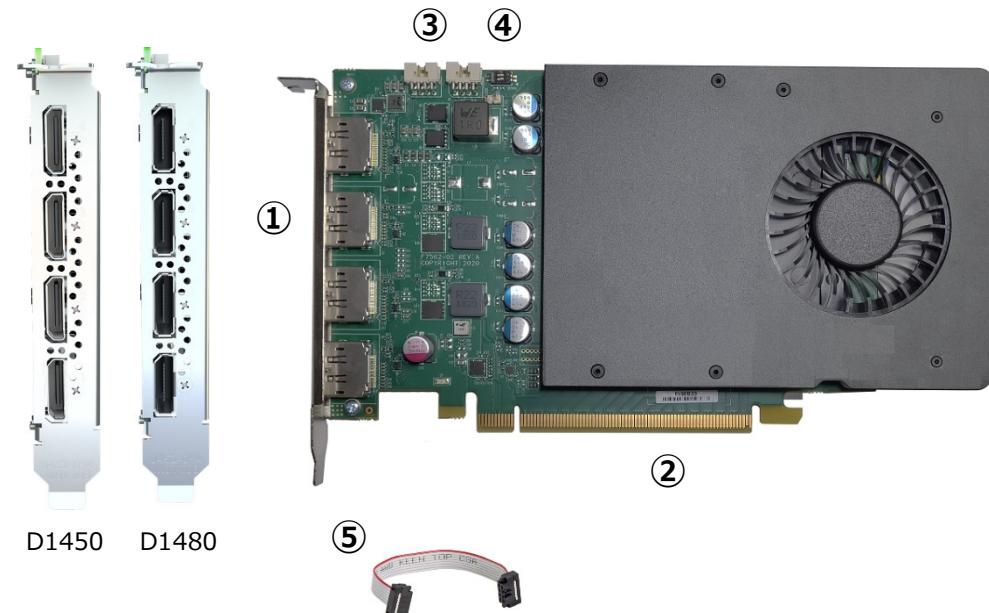
	本機は屋内での使用を前提としております。屋外では使用しないでください。故障の原因となる場合があります。
	静電気による破壊を防止するため、本製品を設置・保管・運搬等する場合には十分にご注意ください。
	端子部分やファン等の可動部には指などで直接触れないでください。
	本機を磁気の強い場所、または磁気の強い物のそばに置かないでください。
	本機を密閉された狭い場所には設置しないでください。また通気のある場所に設置してください。密閉された通気のない場所で使用すると本体の温度が上がり故障の原因となります。
	高温、湿度の高い場所、温度変化の大きい場所、または湯気、油煙にさらされる場所には設置しないでください。故障の原因となります。また結露したまま使用しないでください。

目次

1 ボード概要	6
2 動作環境	6
3 Matrox D シリーズの取り付け	7
3.1 PC への取り付け	7
4 ディスプレイとの接続	9
4.1 接続前の注意事項	9
4.2 D1450 とディスプレイの接続	10
4.3 D1480 とディスプレイの接続	10
5 ドライバーと Matrox PowerDesk のインストールとアンインストール	11
5.1 ドライバーのインストール	11
5.2 ドライバーのアンインストール	14
6 Matrox PowerDesk の設定	15
6.1 メインメニュー	15
6.2 Multi-Display Setup	16
6.3 Desktop Management	19
6.4 Edge Overlap and Bezel Management	20
6.5 Keyboard Shortcuts	22

6.6 Administrator Options	22
6.7 Help and Troubleshooting.....	23
6.8 About.....	23
7 製品仕様	24
7.1 グラフィックスボードの仕様	24
7.2 環境仕様	25
7.3 注意事項と制限事項.....	25

1 ボード概要



① 出力コネクター	映像出力端子 4 口 (HDMI または Display Port)
② PCI Express 端子	PCI Express 3.0 対応 16 レーン
③ フレームロックケーブルコネクター	オプションのフレームロックケーブル接続時に使用
④ ディップスイッチ	複数枚のボードを使用した際、ボードの認識順を設定
⑤ フレームロックケーブル	200mm のケーブルが標準付属 (100mm の長さのフレームロックケーブル CAB/FL は別売) ※2021 年 12 月現在

2 動作環境

- ◆ PCI-Express スロット (16 レーン)
- ◆ 32GB のシステムメモリー
- ◆ 下記に記載した互換性のあるオペレーティングシステム
- ◆ DVD-ROM ドライブ、または インターネット環境 (ドライバーインストール用として)
- ◆ 同一仕様のディスプレイ

【対応 OS】

- Windows 10 (64bit)
- Windows Server 2016
- Windows Server 2019

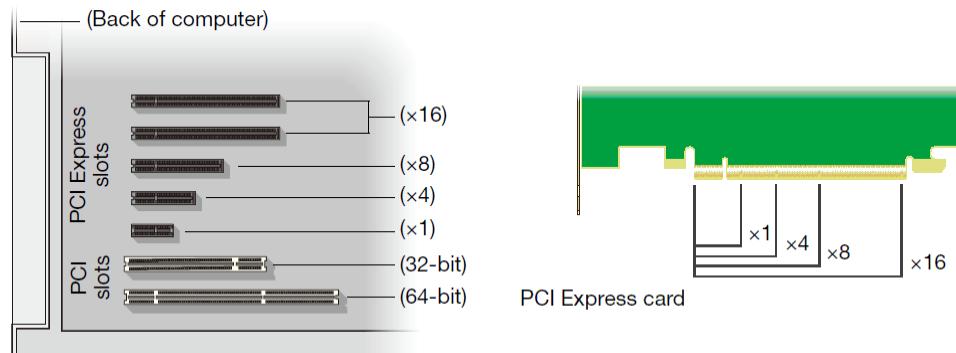
3 Matrox D シリーズの取り付け

注意 :本製品は精密機械ですので静電気を与えたり、ボード上の回路に触れたりしますと故障の原因となります。取り扱いには十分ご注意ください。

3.1 PCへの取り付け

- ① PC 本体の電源スイッチを OFF にして、AC コードをコンセントから抜きます。
- ② 既に使用しているグラフィックスボードがある場合、スロットから取り外してください。また、PC によっては、マザーボード上にグラフィックス機能が内蔵されているもあります。その場合、マザーボードの BIOS やディップスイッチでグラフィックス機能の動作を無効（もしくは、PCI-Express スロット側を優先）に設定します。詳しくは PC、またはマザーボードのマニュアルをご参照ください。Matrox D シリーズは、D シリーズ以外のグラフィックスボード（Matrox 社の P/M/C シリーズ、他社製のグラフィックスボード）、オンボードグラフィックス機能との共存はサポートしていません。
- ③ 設置されている既存のグラフィックスボードの取り外し、および内蔵グラフィックス機能を無効に設定したあと、Windows の「プログラムと機能」からそれらのデバイスドライバーのアンインストールを行います。アンインストール後、Windows の再起動を行ってください。
- ④ Matrox D シリーズ グラフィックスボードをスロットに装着します。

警告 :ほとんどの PC は数種類のスロットを装備しています。Matrox D シリーズは、PCI Express x16 スロットを選択してください。間違ったタイプのスロットに装着した場合、ボードや PC の故障の原因となりますのでご注意ください。

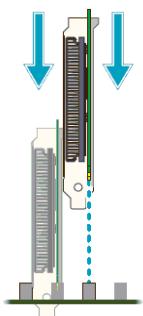


3.2 複数ボードの取り付け

Matrox D シリーズのボードは、1 台の PC に最大 4 枚まで同時にインストールすることが出来ます。

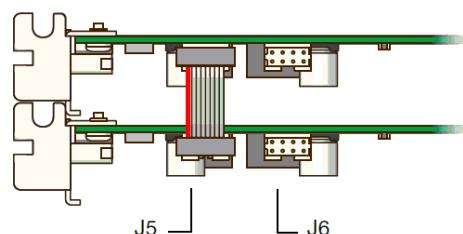
- ※ 全ての PC において、複数枚での動作を保証するものではありません。事前に動作確認を行ってください。
- ※ D1450 と D1480 の組み合わせはサポートしていません。必ず同じボードの組み合わせをご利用ください。

警告 : ボードを取り付ける時は、スロットに対して真っ直ぐに挿入しインストールし、ボードを左右に揺らさないでください。
また、引っかかりを感じた場合は、無理に押し込まないでください。
ボードの故障の原因となりますので十分にご注意ください。



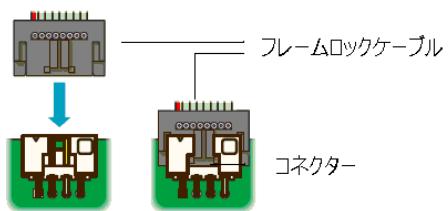
3.3 複数ボードの相互接続（フレームロック）

2 枚以上のボードを取り付けた場合、フレームロックケーブルでグラフィックスボードを相互接続することにより、ボードの全ての出力をフレームロックすることができます。



フレームロックケーブルを 1 枚目のボードの J5 または J6 のラベルが付いたコネクターに接続します。次のボードにも同じラベルの付いたコネクターに接続します。

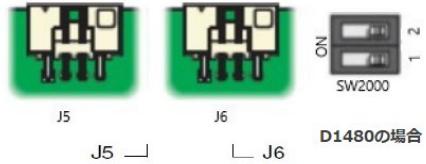
注意 : フレームロックケーブルを接続する向きに十分ご注意ください。フレームロックケーブルの片側は、目印のため、赤いケーブルになっています。この赤いケーブルが、グラフィックスボードのプラケット側へ向くように接続してください。



3.4 ディップスイッチの設定

ディップスイッチは、複数のボードを使用した際、Matrox PowerDesk（16 ページの Matrox PowerDesk の項目を参照）でボードの認識順（A→B→C→D）を予め設定することができます。最初に認識されるメインボードが A となり、次に B、C、D の順に認識されます。

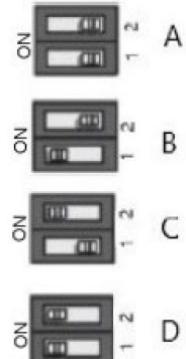
ディップスイッチは、フレームロックケーブルコネクター（J5、J6）の横にあります。D1450 は、基板上に「SW1000」、D1480 は、「SW2000」と印字されています。



J5 J6
J5 ← ← J6
D1480の場合

4 枚のボードを取り付けた場合のディップスイッチの設定と認識順は右の図のとおりです。

ディップスイッチスイッチは、複数のボードを使用する大型のディスプレイウォールを構成する場合にとても便利です。PowerDesk（16 ページの Matrox PowerDesk の項目を参照）でディスプレイウォールの出力を適切にレイアウトできるようになり、マルチディスプレイのレイアウトを手動で設定する必要がなくなります。



ディップスイッチを設定しない場合のボードの認識順は、PC に依存します。

4 ディスプレイとの接続

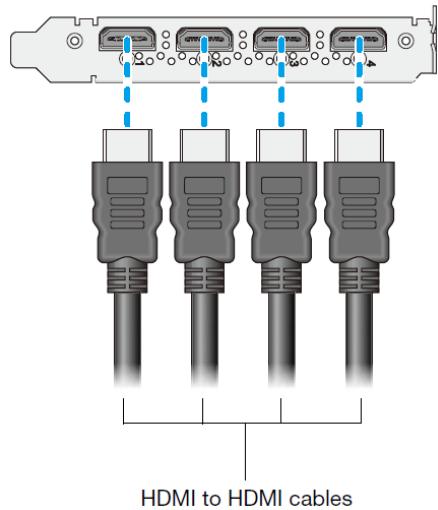
4.1 接続前の注意事項

ボードおよびディスプレイの破損を避けるため、接続を行う前に以下の項目について確認を行ってください。

- 接続するディスプレイは、全て同一仕様のものをご利用ください。
- 接続の変更を行う場合は、全てのコネクターが接続・固定されていることを確認してください。
- ボードとディスプレイの接続は、ディスプレイケーブルを使い、直接接続してください。変換コネクター等を使用しての接続はサポートしていません。
- PC の電源が入っている状態でディスプレイの接続を変更しないでください。ディスプレイによっては、独自の設定がされていることがあります。その場合、設定を変更せずに接続を変更することで機器に損害を与える可能性があります。

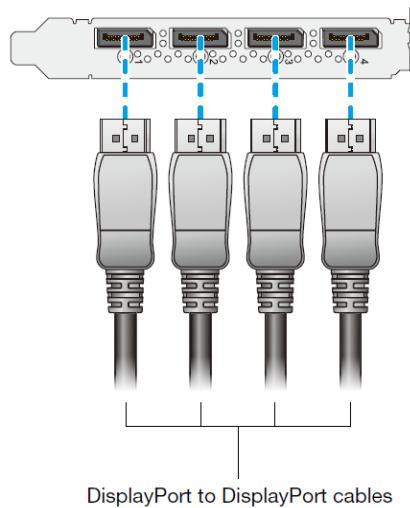
4.2 D1450 とディスプレイの接続

HDMI ケーブル（両端が HDMI 端子）*を使用してボードとディスプレイを接続します。



4.3 D1480 とディスプレイの接続

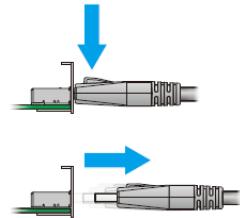
DisplayPort ケーブル（両端が DisplayPort 端子）*を使用してボードとディスプレイを接続します。



ディスプレイとの接続が完了したら、ディスプレイ→PC の順で電源を投入します。

* 変換アダプターを使用して接続する場合、ご利用のアダプターによっては正常に表示が行えない場合がありますので、ご注意ください。

注意 : DisplayPort コネクターには、落下防止の為のラッチが装備されています。コネクターを抜く際は、ラッチを押し込み、ロックを外した状態で行ってください。そのままの状態で引き抜くとコネクター破損の原因となりますのでご注意ください。



5 ドライバーと Matrox PowerDesk のインストールとアンインストール

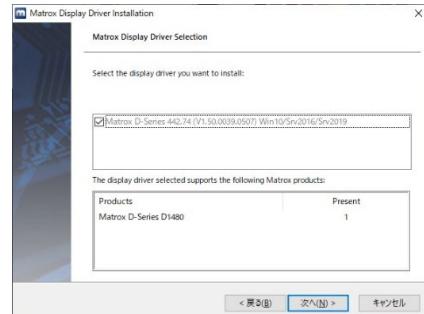
5.1 ドライバーのインストール

Windows 環境にドライバーをインストールします。Matrox 独自の機能を操作するユーティリティである Matrox PowerDesk はドライバーと一緒にインストールされます。プラグアンドプレイ機能によりグラフィックスボードを装着後に PC を起動すると Windows が新しいデバイスを検出して「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示される場合がありますが、このダイアログはキャンセルして閉じてください。

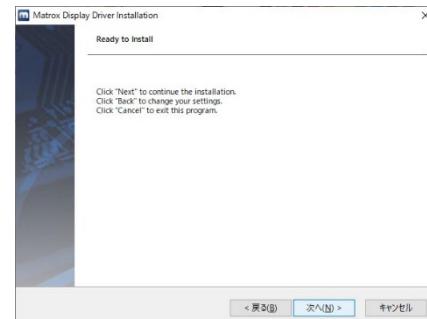
- ① 製品に付属の DVD-ROM をドライブに挿入します。DVD-ROM がマウントされたら、「マイコンピュータ」から DVD-ROM を開きます。ドライバーフォルダ内の「Matrox.Setup.exe」ファイルをダブルクリックしてインストールを開始します。



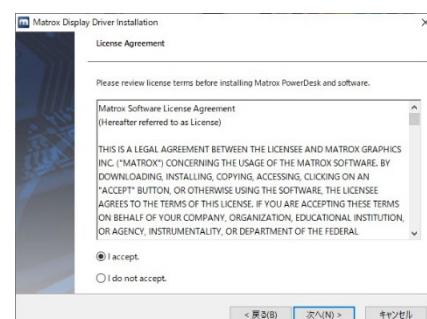
- ② インストールするディスプレイドライバーが表示されます。選択されているディスプレイドライバーが現在使用している Matrox 製品をサポートしているか、ダイアログ下部で確認してください。「次へ」をクリックします。



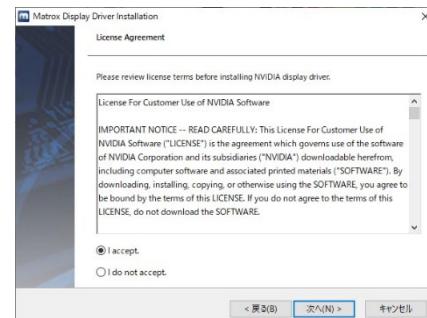
- ③ ドライバーのインストールを開始する画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。



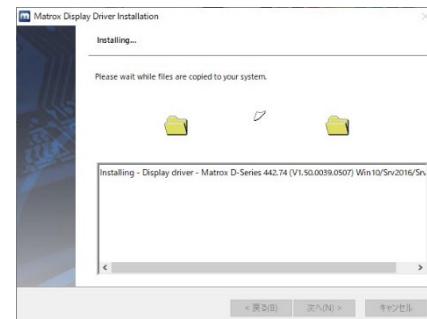
- ④ ライセンス条項に同意する場合は、「I accept」を選択して「次へ」をクリックします。「I do not accept」を選択するとドライバーのインストールを終了します。



- ⑤ 再度、ライセンス条項が表示されますので、同意する場合は、「I accept」を選択して「次へ」をクリックします。「I do not accept」を選択するとドライバーのインストールを終了します。



- ⑥ インストールが開始されます。



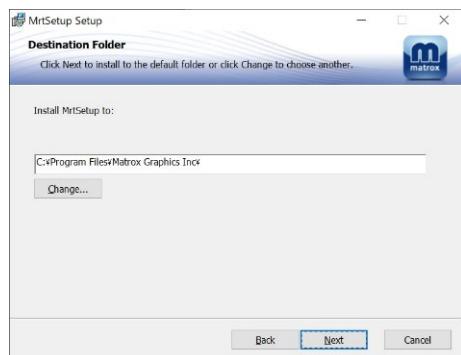
- ⑦ インストールの途中で「MrtSetup Setup」ウィザードが表示されます。MrtSetup は、Matrox 社の IPX シリーズと組み合わせてご利用頂く場合に使用します。「Next」をクリックし、インストールを行います。



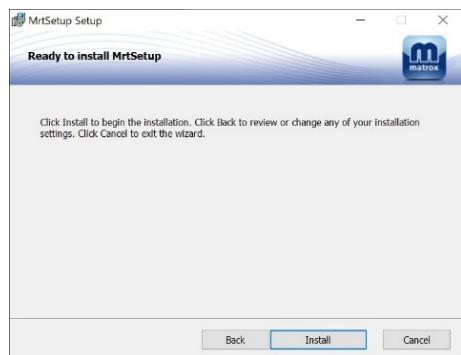
- ⑧ ライセンス条項が表示されますので、「I accept the terms in the License Agreement」にチェックを入れて「Next」をクリックします。



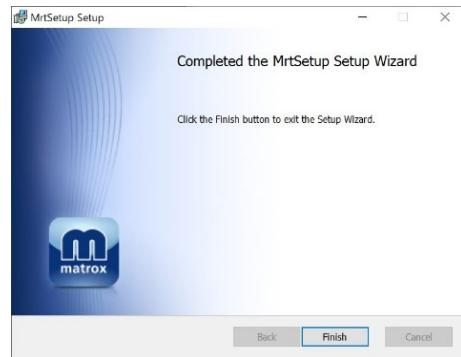
- ⑨ インストールフォルダを指定します。変更せず「Next」をクリックします。



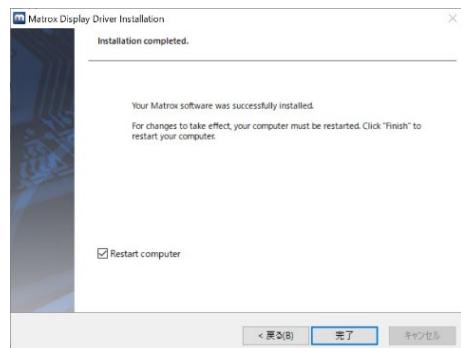
- ⑩ 「Install」をクリックしてインストールを開始します。



- ⑪ MrtSetup のインストールが完了したら「Finish」をクリックします。



- ⑫ 全てのインストールが完了したら、「Restart computer」にチェックが入っていることを確認して、「完了」をクリックします。PC の再起動が実施されます。(ドライバーのインストール後は、必ず、PC の再起動を行ってください。「Restart computer」のチェックを外して終了した場合は、手動で PC の再起動を実施してください。)



注意

- 複数枚のボードを装着して使用する場合、ドライバーをインストールする前に使用するボードを全て PC に装着してからインストール作業を行ってください。
- 使用中にボードを追加する場合、一度、ドライバーのアンインストールを行った後、再インストールを行ってください。
- 複数ボードをインストールする場合、1枚の時と比較してインストール終了まで時間がかかります。

5.2 ドライバーのアンインストール

ボードを取り外す、また、アップデートやトラブルシュートでドライバーの再インストールを行う場合は、事前にインストール済みのドライバーのアンインストールを行ってください。

※ 最新ドライバーへのアップデート、トラブルシュートでドライバーの再インストールに限らず、ドライバーの上書きインストールは推奨していません。

- ① Windows の「コントロールパネル」から「プログラムと機能」を開きます。
- ② 「プログラムのアンインストールと変更」で「Matrox Driver Uninstaller」、「Matrox PowerDesk」、「MrtSetup」を選択してアンインストールを行います。



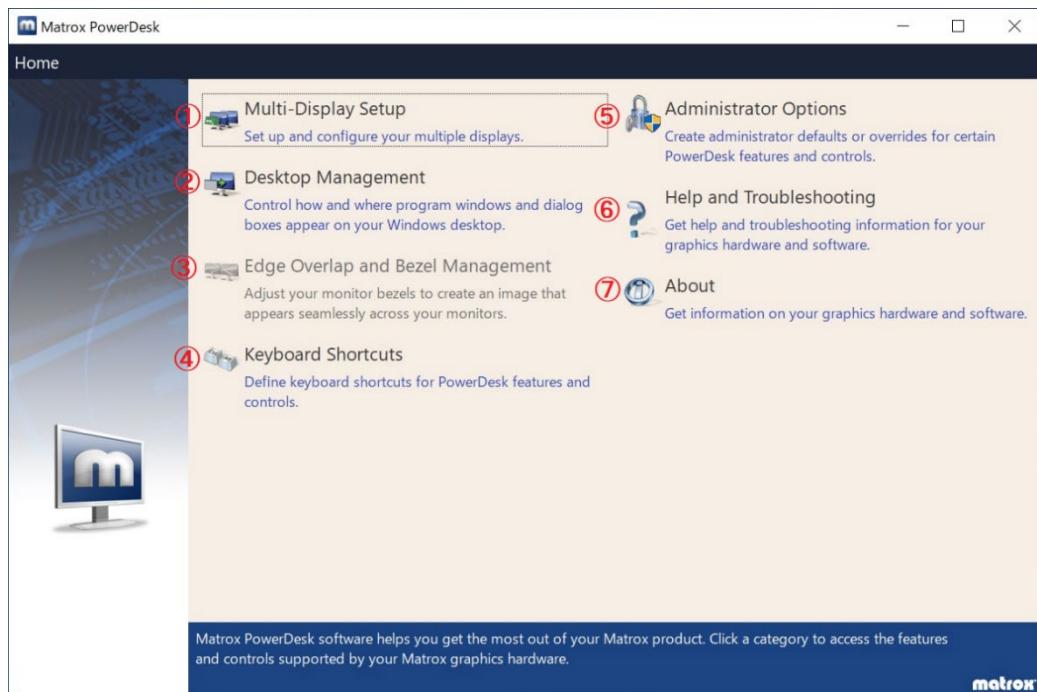
6 Matrox PowerDesk の設定

Matrox PowerDesk（以下、PowerDesk）は、グラフィックスボードの性能を十分に引き出すとともに、マルチディスプレイを使用する上で有用な機能や設置・保守に役立つ機能を設定します。

PowerDesk のメインメニューは、【スタート → Matrox Graphics → Matrox PowerDesk】もしくは、コンテキストメニューの「Launch Matrox PowerDesk」から起動します。

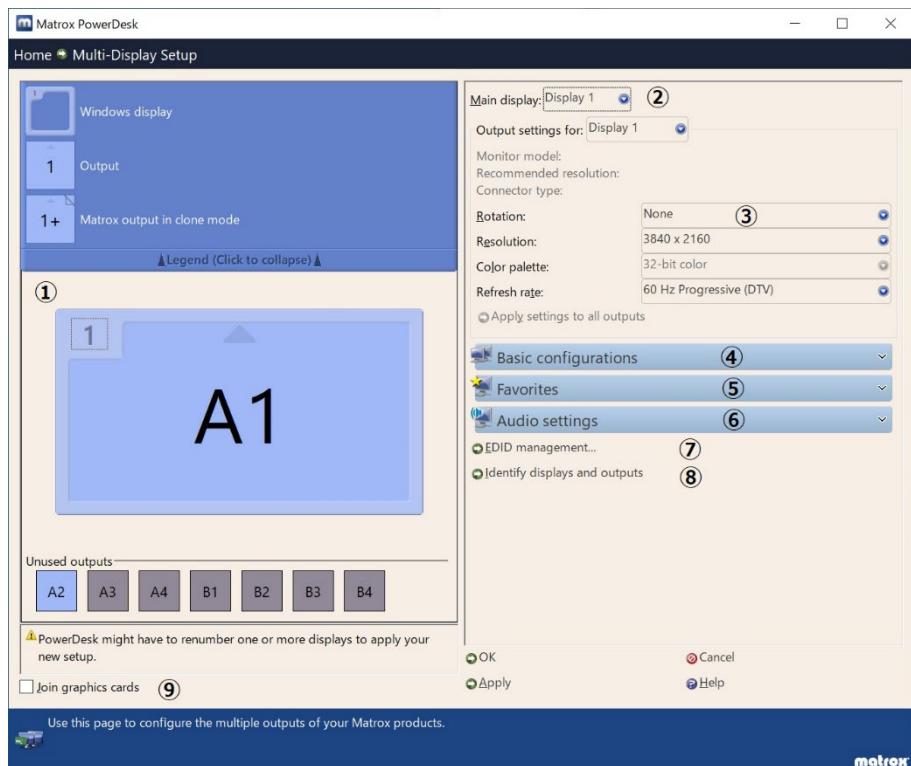
- ※ ドライバーのバージョンによって設定の表記が異なる場合があります。
- ※ マルチディスプレイの設定は、PowerDesk 上から行ってください。Windows の「ディスプレイ設定」から設定した場合、正常に表示が行えませんのでご注意ください。

6.1 メインメニュー



- ① Multi-Display Setup : 出力解像度やマルチディスプレイの設定を行います。
- ② Desktop Management : デスクトップ表示に関する様々な設定を行います。
- ③ Edge Overlap and Bezel Management : マルチディスプレイ (Stretched modes 設定時) に設定した際、ディスプレイ出力の重ね合わせ (オーバーラップ) 及び、ベゼル部分 (フレーム枠) に掛かる画像のズれを調整します。
- ④ Keyboard Shortcuts : キーボードショートカットを設定します。
- ⑤ Administrator Options : PowerDesk に管理者機能を付加します。
- ⑥ Help and Troubleshooting : オンラインヘルプおよびトラブルシュートに関する機能を設定します。
- ⑦ About : グラフィックスボード及び PowerDesk の情報を表示します。

6.2 Multi-Display Setup



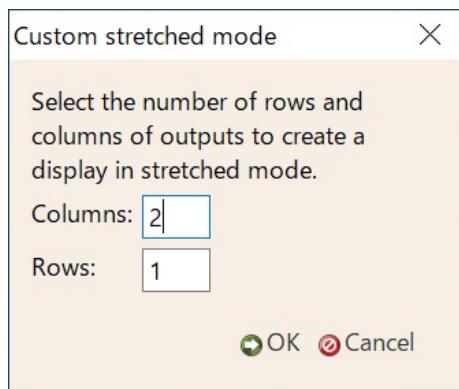
- ① 現状のディスプレイの設定状況が表示されます。また、アイコンを直接操作することでマルチディスプレイの設定を行うことが出来ます。
- ② マルチディスプレイを設定した際、どのディスプレイをプライマリー（メインディスプレイ）に設定するか選択します。
- ③ 出力解像度「Resolution」、色数「Color palette」を設定します。マルチディスプレイを設定した際は、「Output setting for」から設定するディスプレイを選択してください。また、「Rotation」を設定することで表示角度を変更することができます。例えば、「90 degrees」の場合、時計回りに 90 度回転した縦表示（ポートレート）になります。

- ④ Basic Configurations : マルチディスプレイのモードを設定します。マルチディスプレイは、デスクトップを複数のディスプレイを使って表示する方法です。例えば、プライマリーの解像度 1920x1080、セカンダリーの解像度 1920x1080、二つのディスプレイを横に並べて 3840x1080 のデスクトップ環境を構築できます。尚、マルチディスプレイを設定するためには、2 台以上のディスプレイを接続する必要があります。

[Use stretched mode]

タスクバーをデスクトップ全体に表示するマルチディスプレイモードです。「Columns」(列: 水平)、「Rows」(行: 垂直) に数値を入力して設定します。例えば、「Columns: 2」、「Rows: 1」は水平方向 2 画面分、垂直方向 1 画面分の横長解像度になります。出力解像度を 1920x1080 に設定した場合、Windows からは 3840x1080 の解像度として認識されます。

「Columns: 1」、「Rows: 2」は水平方向 1 画面分、垂直方向 2 画面分の縦長解像度になります。出力解像度を 1920x1080 に設定した場合、Windows からは 1920x2160 の解像度として認識されます。

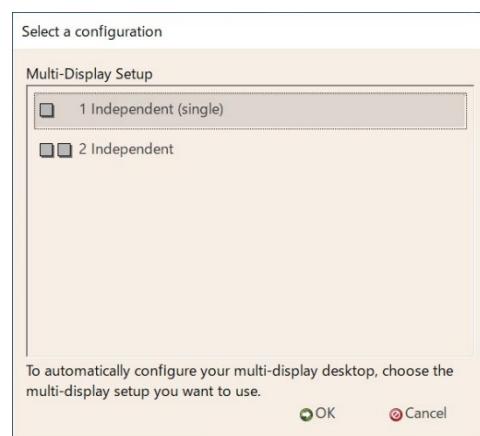


Stretched mode では、Display1 と Display2 は必ず同じ解像度になります。Display1 と Display2 で異なる解像度 (例えば、1920x1080 と 1280x720) で Stretched mode を構成することは出来ません。

画面構成を選択したら「OK」をクリックして設定を確定します。

[Use independent mode]

タスクバーをプライマリー内に収めて表示するマルチディスプレイモードです。「Select a configuration」から画面構成を選択します。「Independent 2」を選択すると 2 つの独立したデスクトップとして認識されます。16 ページ③の「Output setting for」から「Display 1」または、「Display 2」を選択して、個別にディスプレイの設定を行うことができます。画面構成を選択したら「OK」をクリックして設定を確定します。



- 異なる解像度を混在して使用する場合

「Independent 2」を選択し、「Display1」の解像度を 1920x1080、「Display2」解像度を 1280x720 に設定した場合、Windows からは 1920x1080 と 1280x720 の二つの独立したデスクトップとして認識されます。

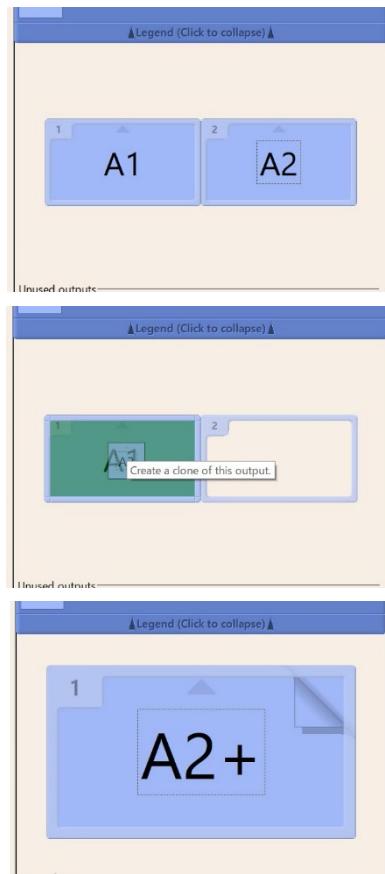
- 同一解像度を使用する場合

「Independent 2」を選択し、「Display1」解像度を 1920x1080、「Display2」解像度を 1920x1080 に設定した場合、Windows からは 1920x1080 と 1920x1080 の二つの独立したデスクトップとして認識されます。

クローン（複製）モードについて

プライマリーの出力と同じ画像をセカンダリー以降のディスプレイに複製して出力する Clone mode は「Basic Configurations」に含まれません。Clone mode を設定する場合は、①のディスプレイアイコンを操作して設定します。ここでは、「A1」「A2」をクローン（A1 の複製）する方法を解説します。

- A1、A2 は Independent mode に設定されています。

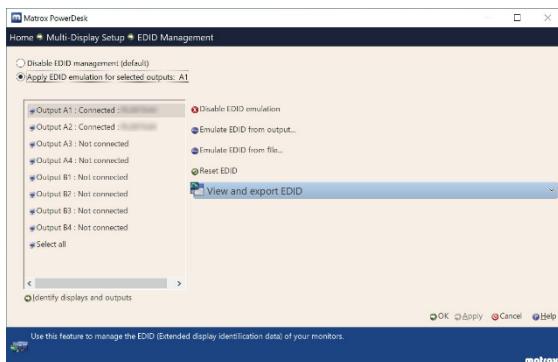


- A2 のディスプレイアイコンの真ん中にマウスカーソルを合わせ、A1 のディスプレイアイコンの上に重ねドラッグ＆ドロップします。

- アイコンが重なり「+」が表示されたら、「OK」をクリックして設定を確定します。

クローンモードを解除する場合は、「Basic Configurations」から他のマルチディスプレイモードを選択するか、ディスプレイアイコンの「A2+」にマウスカーソルを合わせ、枠外にディスプレイアイコンを移動するようにドラッグ＆ドロップします。

- ⑤ Favorites : マルチディスプレイの設定を保存・復元します。
 [Save] マルチディスプレイの設定を保存します。
 [Open] 保存したマルチディスプレイ設定を呼び出して、復元します。
- ⑥ Audio settings : オーディオの設定を行います。Windows の「サウンドの設定」が開きます。
- ⑦ EDID Management : 接続されたディスプレイの EDID に関する設定を行います。
 クリックするとライセンス条項が表示されますので「I accept」をクリックします。「I do not accept」をクリックすると元のメニューに戻ります。[Disable EDID management (default)] EDID management 機能を無効にします。このモードでは、Windows のプラグアンドプレイ機能に基づき、接続されたディスプレイに合わせて表示を行います。標準では、このモードが選択されています。



[Apply EDID emulation for selected outputs]

接続されたディスプレイの EDID 情報を任意の出力先に割り当て保持する機能です。接続されていないディスプレイの EDID 情報ファイル (.dat) があれば、それをエクスポートして任意の出力先に割り当て保持することも可能です。この機能を無効にするには、「Disable EDID management (default)」を選択します。

注意 : 接続したディスプレイがサポートしていない解像度を追加または選択した場合、正常に表示できません。最悪の場合、ディスプレイに損傷を与える可能性があります。ご使用に当たっては十分にご注意ください。
 尚、現在ご利用のディスプレイがどの解像度をサポートしているかについては、各メーカー様にお問い合わせください。

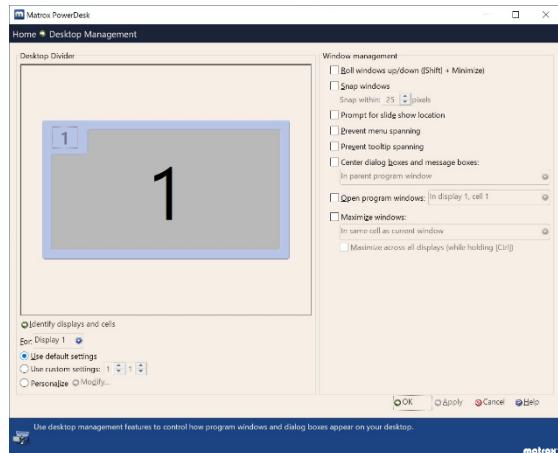
- ⑧ Identify display and output : ディスプレイ上に表示及び出力識別の為の番号 (A1・A2) を表示します。
- ⑨ Join graphics cards : D1480 を複数枚インストールした際に表示されます。有効に設定（チェックを入れる）すると全てのボードを統合して Stretched mode を設定することが可能となります。例えば、2枚のボードをインストールした場合、このモードを有効にすると横 4 面×縦 2 面 (Columns 4・Rows 2) の 8 画面によるデスクトップ設定が可能となります。

注意 : D1450 は、非サポートとなります。Join graphics cards でサポートするマルチディスプレイは Stretched mode のみです。Stretched mode と Independent mode、Clone mode の混在は出来ません。

6.3 Desktop Management

[Desktop Divider]

1つのWindowsデスクトップを複数の領域に分割し、分割した各領域に以下のDesktop Managementで設定したウィンドウやダイアログボックス等を表示させることができます。高解像度の大型ディスプレイやワイドディスプレイを使用して複数のウィンドウを同時に表示する場合に最適です。



[Desktop Management]

マルチディスプレイを使用する際、プログラムウィンドウの表示位置の記憶やダイアログ/メッセージボックスの表示位置、ウィンドウ最大化時の表示位置等を設定することができます。

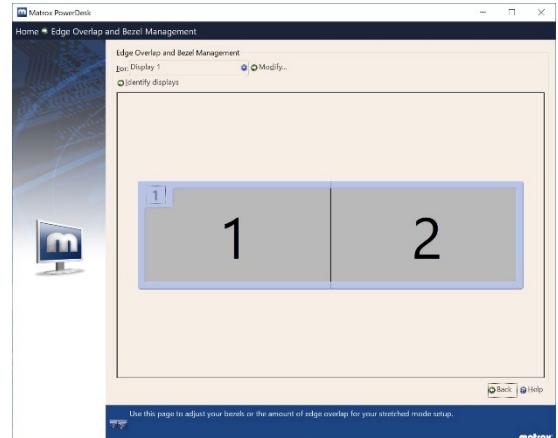
6.4 Edge Overlap and Bezel Management

この機能は、Stretched modeでマルチディスプレイを設定しているときに使用することができます。シングルディスプレイやIndependent mode/Clone modeで設定している場合は、ご利用頂けません。

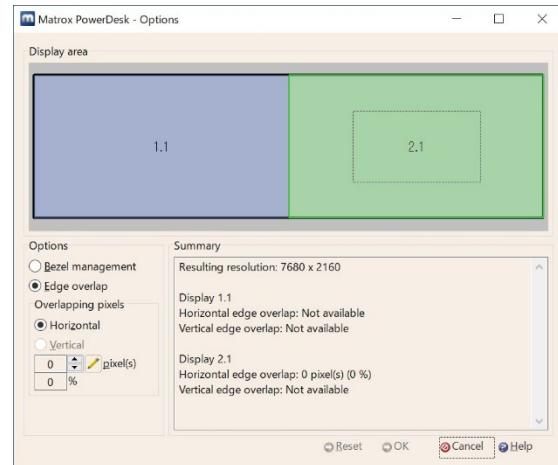
Bezel Management（手順③）とEdge Overlap（手順④）は、同時に設定することは出来ません。どちらか片方のみ設定が可能です。

Join graphics cardsが有効な場合、複数のボードを跨いで Bezel Management を設定することができます。（Edge Overlapは設定不可）Join graphics cardsが無効の場合、Edge Overlapと Bezel Management の設定が可能ですが、複数のボードを跨いでの設定は出来ません。

- ① 各出力のオーバーラップ、及び、ベゼル枠部分の調整の基準となるディスプレイをプルダウンメニューから選択し、「Modify」をクリックします。



- ② ベゼル枠の調整を行う場合は、左下部の「Option」から「Bezel Management」を選択します。オーバーラップの調整を行う場合は、「Edge Overlap」を選択します。



③ Bezel Management

ディスプレイ上に表示されるスケールを確認しながら「Hidden pixels」の項目から横方向の調整は「Horizontal」、縦方向の調整は「Vertical」を選択し、ピクセル単位で調整します。調整が完了したら「OK」をクリックして設定を確定します。調整幅は、出力解像度の25%までとなります。

設定を解除する場合は、「Reset」をクリックします。



④ Edge Overlap

ディスプレイ上に表示されるスケールを確認しながら「Hidden pixels」の項目から横方向の調整は「Horizontal」、縦方向の調整は「Vertical」を選択し、ピクセル単位で調整します。調整が完了したら「OK」をクリックして設定を確定します。調整幅は、出力解像度の25%までとなります。

設定を解除する場合は、「Reset」をクリックします。



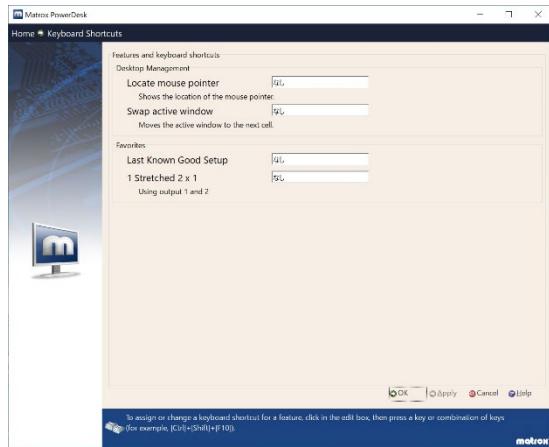
6.5 Keyboard Shortcuts

[Locate mouse pointer]

ディスプレイ上のどこにマウスポインターがあるかドット表示を行い、位置を確認できるようにします。

[Swap active windows]

ディスプレイの設定を変更することなくアクティブウィンドウを任意のデスクトップに移動することができます。



[Favorites]

Multi-display setup で Favorites に保存したマルチディスプレイの設定にショートカットを割り当てて、変更を行います。ディスプレイ構成を変更の度、Multi-Display Setup で設定を行う必要がなく、キーボードショートカットで瞬時にディスプレイ構成を変更することができます。デフォルトで登録されている「Last Known Good Setup」は、直前に設定したディスプレイ構成に変更する際に使用します（任意）。

6.6 Administrator Options

[Desktop Management]

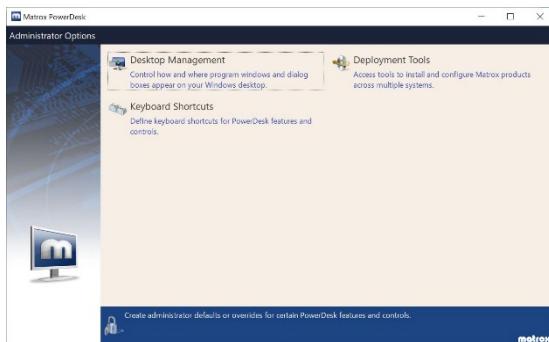
Desktop Management に管理者権限を付加し、任意のユーザーのみが設定を行えるようにします。

[Keyboard Shortcuts]

Keyboard Shortcuts に管理者権限を付加し、任意のユーザーのみが設定を行えるようにします。

[Deployment Tools]

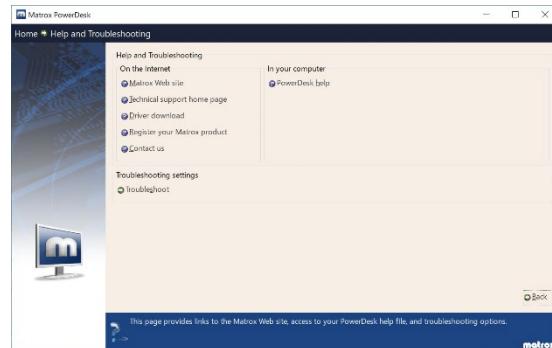
同種の Matrox グラフィックスボードを大量の PC にインストールする際、予めインストールされた PC の設定ファイルを用い、同一の環境を構築します。詳細につきましては、オンラインヘルプをご覧ください。



6.7 Help and Troubleshooting

[Help and Troubleshooting]

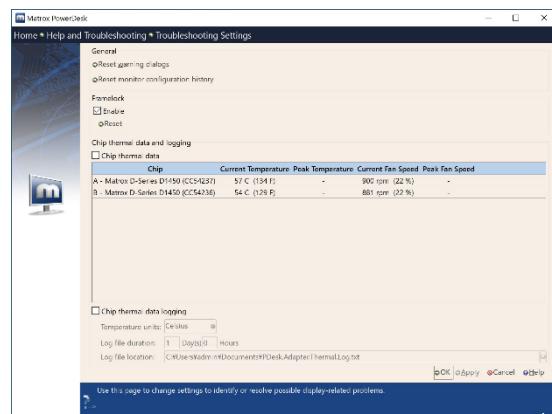
Matrox 社の[テクニカルサポートサイト](#)へのリンクおよび PowerDesk のオンラインヘルプをご覧頂けます。



[Troubleshooting settings]

ディスプレイに関連する可能性のある問題を特定・解決する為の設定項目です。通常の使用において、これらのデフォルト設定を変更する必要はありません。ただし、ご使用のシステムに固有の問題を特定・解決する為、設定を変更する必要がある場合があります。

各項目の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。



- ① Reset warning dialogs : 警告メッセージのリセットをします。
- ② Reset monitor configuration history : ディスプレイ設定の履歴をリセットします。
- ③ Flame lock : フレームロックの有効／無効を設定します。デフォルト設定は有効です。
- ④ Chip temperature data and logging : ボードの温度監視および温度ログを設定します。

6.8 About

インストールされている Matrox グラフィックスボードの情報（シリアル番号や BIOS バージョン）とドライバーや PowerDesk のバージョン等の情報を確認することができます。



7 製品仕様

7.1 グラフィックスボードの仕様

製品名	Matrox D1450	Matrox D1480
型番	D1450-E4GB	D1480-E4GB
サポートOS	Windows 10 (64bit)、Windows Server 2019、Windows Server 2016	
GPU	NVIDIA®	
メモリー	4GB GDDR5	
ボードタイプ	PCIe 3.0 x16	
フォームファクタ	フルハイイト	
サポート出力数	4	
コネクター	4x HDMI 2.0	4x DisplayPort 1.4
最大解像度	5120x3200 @60Hz	
	4096x2160 @60Hz	
	5120x3200 @30Hz	
	4096x2160 @30Hz	
	4096x2160 @60Hz	
音声出力	3840x2160 @30Hz	
	4096x2160 @30Hz	
	3840x2160 @60Hz	
	3840x2160 @60Hz	
	3840x2160 @30Hz	
HDCP 対応 †	対応 (HDCP 1.4)	
フレームロック	対応	
冷却方式	アクティブ (ファン)	
消費電力	50W	
ボードサイズ ‡	L: 201.37 mm/H: 111.5 mm	
各種認証	Class A : CE、FCC、ICES-3、KC、RCM	Class B : CE、FCC、ICES-3、KC、RCM
環境認証	EU RoHS、China RoHS、REACH	

※ 弊社は、告知なしに製品仕様を変更する場合があります。

† ご利用のハードウェア・ソフトウェアにより一定の制限が適用される場合があります。

Matrox 社は、HDCP ウェブサイト (www.digitalcp.com) を確認することを強く推奨します。法律上の義務および責任をご確認ください。

‡ サイズには、ファンシンク、ブラケット、およびフレームロックコネクターが含まれます。

7.2 環境仕様

動作環境	
温度	5~55°C (ボード周囲)
湿度 (室内)	20~80% (結露なきこと)
気圧	650hPa (3,580m) ~ 1013hPa (0m)
保存・輸送環境	
温度	-40~70°C
湿度	10~95% (結露なきこと)
気圧	192hPa (12,000m) ~ 1020hPa (-50m)

7.3 注意事項と制限事項

- ◆ Matrox 社のグラフィックスボードは、VGA 互換を持ち、次の VESA 規格をサポートします。
VEB3.0 (Super VGA modes)
DPMS (energy saving)
DDC-2B (Plug-and-Play monitor) 及び DDC-CI
- ◆ EDID 1. 2 及び 1. 3 をサポート
- ◆ 表示解像度と利用できるリフレッシュレートは、ご利用のソフトウェアの表示設定、接続するディスプレイにより異なります。詳細については、各ソフトウェア、ディスプレイの仕様をご確認ください。
- ◆ グラフィックスボードへの電力供給は、250VA までに制限されています。IEC/CAN/CSA-C22.2/ANSI/UL 62368-1 および IEC/CAN/CSA-C22.2/ANSI/UL 60950-1 の安全規格を満たしたシステムでご利用頂く必要があります。